

日本共産党

# ひめだ高宏ニユエ

No. 91

10.11.10

## 知事選挙が始まります

沖繩ごも

11日告示28日投票で知事選挙が始まります。今後4年間の県政をどうするかを決める選挙です。日本共産党は、労働組合や民主団体などをつくる「ゆたか」で住みよい和歌山県をつくる会の一員として、県政革新をめざします。

日本共産党  
和歌山後援会

## 県政・市政報告会

20人

11月7日(日) 日本共産

党和歌山後援会が和歌山漁協事務所、県政・市政報告会を開いてくれました。ふじい県議は、「つくる会」の知事候補の人柄を紹介。県単独福祉医療を守つ

た党県議団の活動を報告。地元業者ができる仕事を県外大手に発注した県政を批判し、中小企業振興条例制定など地域やくらしに密着した施策の実現をめざす決意を表明しました。



報告しているひめだ。手前がふじい県議。

私、ひめだは学校給食調理の民営化などが人件費削減のみを目的にしたもので市民にきちんと説明できないことを批判。国保料引き下げ、子どもの医療費無料の拡大と議席回復をめざす決意を述べました。参加者からは、高齢者のいこいの場がなく、アート

## フリーの人々



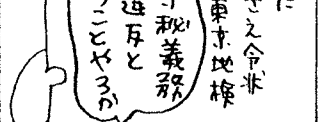
<634>



「少開」衝突ビデオをフリーのワイドショーで見た



「これが非公開にするほどのものなの？」



「グーグルに差し押さえ命令、東京地検 守秘義務と違反といつこやろか」



「でも、フリースタイルテレビは不問? そもそも非公開を主めた政府に責任はない?」

キューブが気軽に使えないこと、三段橋あたりの県道が壊れていること、高齢者医療の窓口負担の引き上げ

計画の不安が出されました。また58才で失業中の方から働き口が見つからない厳しい状況が出されました。

## こんにちは

県議員の  
**ふじい健太郎**です。  
(その278)

県人口の65才以上の人の割合が26%となり、高齢化率では全国7番目。また、一人暮らしの高齢者の割合は全国3番目に多い県となっています。県は「健康長寿日本一」をめざすと言っていますが、本気なのかどうか疑問です。

「高齢者ができるかぎり在宅で生活できる住環境を整備するために」という目的で低所得者向けの住宅改修経費の補助をしています。最初は補助対象額100万円でしたが、木村前知事が介護保険の認定を受けている人だけにしぼり、金額も60万円に削減しました。さらに仁坂知事が手すりや段差解消など軽易な造作に限定し、上限を40万円に削減。結果、09年度の利用者は、65人で380万円の実績となっています。「健康長寿日本一」をめざすのなら、元の100万円に戻し、介護保険認定者に限らず広く利用できる制度とすることを要求しています。



ふじい健太郎 県議員

# 日本共産党 市議会議員団 市長に申し入れ

## インフルエンザ予防 接種費用免除の改善

10月28日(木)日本共産党市議会議員団は、大橋市長に対し「インフルエンザ予防接種における費用免除措置の改善をはかる要望書」を提出しました。その要旨は次のとおりです。

### 《要望書》

市は、予防接種における費用免除者にたいして昨年の償還払いから、今年は事前の免除者用予診票の交付

による措置を講じているところですが、すでにインフルエンザ予防接種をされた方から党市議員団に免除者用予診票の交付措置についての改善要望がいくつかが寄せられていきます。そこで、市が関係機関の協力のもとに改善をはかられることを次の通り求めます。

1. 医療機関の窓口で、予防接種に訪れた方にたいして費用の免除者用予診票の事前交付が必要であることを、高齢者にも分かる内容の手ラシなどで周知をはからりたい。
2. すでに費用免除の交付手続きを知らずに予防接種された方にたいしては、後日の申請による償還払いを講じらわれない。
3. なお現在、保健所へ費用の免除者用予診票の交付のため、訪問か郵便による申請手続きとなっております

# こどもたちは 日本共産党 です



人口増加にもなつ穀物需要の拡大に対し、水だけの在庫が必妥なのかを示す「安全在庫水準」(農水省ホームページ)は、17.18%です。

これが06/07年度は16.6%にまで低下し、07/08年度は17.0%に回復しましたが、アフリカやアジアでは食糧暴動が発生しました。世界はいま、「食料危機」の時代に入りつつあるといえます。

民主党政権は、財界の意向を受け米国や欧州という食料輸出国を含む「環太平洋」の食料自給率は、40%ですが、それが14%にまで減少すると農水省は警告しています。世界が食料危機の時代に、国内農業をつぶさうという政府の暴走にストップを。

が、すべての対象世帯がもれなく費用免除されるよう事前に免除者用予診票の発行をおこなない、医療機関窓口へ本人が提示すること、予防接種ができるよう改善措置を検討されたい。

【免除対象は、生活保護世帯と市民税非課税世帯(世帯全員)となっております】  
市保健所433・2261

# 映画 武器なき闘い

6日(土)勤総で治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟和歌山西支部の総会が開かれ、映画「武器なき闘い」を初めて見ました。この映画は、戦前の労働党代議士・山本宣治(山宣)の物語。山宣(下元勉)は生物学者として同志社大学で当時としては斬新な性教育をし、庶民に産児制限の考え方を説いていました。そは当時の「産めよ増やせよ」の国策に反し弾圧の対象

日本共産党南ブロック後援会：主催  
藤井さんと 姫田さんの 当選で春を呼ぶ  
**ゆかいな集い**  
12月5日(日) 午前11時～午後3時  
和歌山市・地場産業センター3F  
会費 600円(食代代)

藤井さん、姫田さんのお話し、食事、贈り物、福引抽選、クイズ、弾子抽選、沖繩三輪、明日帰りにチケットありませう。後援会役員まで是非、ひめだ

50年前の映画...しかしにされ、大学を追われます。労働運動、農民運動、社会主義思想にも接していた山宣は、代議士になり帝国議会であつた。人治安維持法に反対して論陣を張るが、右翼に刺殺されます。原作、西口克己、監督、山本薩夫、大東映画1960年公開。「山宣」人孤聖を守る」という言葉は有名ですが、これほど家族愛あふれる、筋を通した生き方をした人だとは知りませんでした。